



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月9日
東

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所
コード番号 3385 URL <http://www.yakuodo.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西郷辰弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役財務部長（氏名） 小笠原康浩 (TEL) 019-697-8480
四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	43,020	10.4	1,590	15.6	1,740	15.8	943	2.5
26年2月期第3四半期	38,962	7.6	1,376	△2.4	1,502	△2.7	919	△7.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第3四半期	143.31		—					
26年2月期第3四半期	158.97		—					

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	26,756	10,471	39.1
26年2月期	21,749	9,725	44.7

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 10,471百万円 26年2月期 9,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年2月期	—	0.00	—		
27年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- ・平成26年2月期の期末配当金の内訳は、普通配当50円、市場変更記念配当10円です。
- ・当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
- ・平成27年2月期の期末配当金の内訳は、普通配当25円、一部指定記念配当5円です。

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,300	10.2	1,980	11.7	2,150	10.9	1,100	△7.3	167.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

- ・当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割が平成27年2月期の期首に行われたと仮定し算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年2月期3Q	6,580,400株	26年2月期	6,580,400株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	174株	26年2月期	174株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年2月期3Q	6,580,226株	26年2月期3Q	5,785,165株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成26年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策により緩やかな回復基調にある中、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や消費マインドの低下がみられるなど、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社の営業基盤であります東北地方においては、各種政策の効果や復興需要を背景に景気が回復していくことが期待されるものの、小売各社の出店競争や価格競争に加え、人手不足や資材価格の高騰もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圈ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県に5店舗、青森県に2店舗、秋田県に2店舗、宮城県に5店舗、山形県に6店舗の合計20店舗を新規出店いたしました。また、岩手県と山形県のドラッグストア2店舗を退店し、当第3四半期会計期間末の店舗数は181店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は430億2千万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は15億9千万円（前年同四半期比15.6%増）、経常利益は17億4千万円（前年同四半期比15.8%増）、四半期純利益は店舗閉鎖損失等の計上により9億4千3百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

① ヘルスケア部門

医薬品は健康食品やパップ薬等が伸張いたしました。衛生用品では介護用紙おむつ等が伸張し、ベビー用品では紙おむつ等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比5.0%増加し、108億4千6百万円となりました。

② ビューティケア部門

化粧品はカウンセリング化粧品や男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ヘアケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比7.4%増加し、79億7千万円となりました。

③ ホームケア部門

日用品は衣料用洗剤、家庭紙や台所用品等が伸張し、衣料品では肌着や軽衣料等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比12.7%増加し、53億3千万円となりました。

④ コンビニエンスケア部門

食品は菓子、飲料、日配品等が伸張し、酒類では発泡酒、ビール等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比14.5%増加し、188億7千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の流動資産は123億8千8百万円となり、前事業年度末に比べ32億9千7百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が11億8千6百万円増加したことや新規出店等に伴う商品の増加が18億9千7百万円あったことがあげられます。

固定資産は143億6千8百万円となり、前事業年度末に比べ17億9百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が14億8千1百万円あったことがあげられます。

流動負債は122億6千8百万円となり、前事業年度末に比べ32億1千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、買掛金が25億2千6百万円増加したこと等があげられます。

固定負債は40億1千6百万円となり、前事業年度末に比べ10億4千3百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規借入れにより長期借入金が9億7千1百万円増加したことがあげられます。

純資産合計は104億7千1百万円となり、前事業年度末に比べ7億4千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加が7億4千5百万円あったことがあげられます。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年4月8日の決算発表時に公表した業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	421	1,608
売掛金	166	240
商品	7,495	9,393
貯蔵品	5	4
その他	1,002	1,141
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,091	12,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,239	8,784
土地	686	686
その他(純額)	883	819
有形固定資産合計	8,809	10,290
無形固定資産		
	228	224
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,675	2,821
その他	946	1,034
貸倒引当金	—	△2
投資その他の資産合計	3,621	3,853
固定資産合計	12,658	14,368
資産合計	21,749	26,756
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,775	8,302
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	1,277	1,605
未払法人税等	331	454
賞与引当金	271	195
店舗閉鎖損失引当金	—	113
ポイント引当金	20	29
災害損失引当金	53	—
圧縮未決算特別勘定	43	—
その他	779	1,568
流動負債合計	9,052	12,268
固定負債		
長期借入金	2,161	3,133
退職給付引当金	110	115
資産除去債務	482	561
その他	218	205
固定負債合計	2,972	4,016
負債合計	12,024	16,285

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,331	1,331
利益剰余金	7,313	8,058
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,724	10,470
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	1
評価・換算差額等合計	0	1
純資産合計	9,725	10,471
負債純資産合計	21,749	26,756

(2) 四半期損益計算書

第 3 四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年11月30日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年11月30日)
売上高	38,962	43,020
売上原価	29,950	33,143
売上総利益	9,011	9,876
販売費及び一般管理費	7,634	8,285
営業利益	1,376	1,590
営業外収益		
受取利息	24	24
受取事務手数料	66	68
固定資産受贈益	34	33
その他	58	58
営業外収益合計	183	183
営業外費用		
支払利息	26	21
株式交付費	9	—
株式公開費用	19	9
その他	1	2
営業外費用合計	57	33
経常利益	1,502	1,740
特別利益		
補助金収入	44	—
圧縮未決算特別勘定戻入	—	43
特別利益合計	44	43
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	—	7
賃貸借契約解約損	0	—
固定資産圧縮損	44	40
店舗閉鎖損失	—	44
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	113
特別損失合計	45	206
税引前四半期純利益	1,501	1,577
法人税、住民税及び事業税	525	805
法人税等調整額	56	△171
法人税等合計	582	634
四半期純利益	919	943

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第3四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	7,585	23.9	7,908	22.6	+4.3
ビューティケア	5,968	18.8	6,410	18.3	+7.4
ホームケア	4,091	12.9	4,797	13.7	+17.2
コンビニエンスケア	14,093	44.4	15,925	45.4	+13.0
合 計	31,738	100.0	35,041	100.0	+10.4

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第3四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	10,331	26.5	10,846	25.2	+5.0
ビューティケア	7,422	19.0	7,970	18.5	+7.4
ホームケア	4,730	12.1	5,330	12.4	+12.7
コンビニエンスケア	16,477	42.3	18,872	43.9	+14.5
合 計	38,962	100.0	43,020	100.0	+10.4

ロ. 地域別販売実績

当第3四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青 森 県	4,524	11.6	4,924	11.4	+8.8
秋 田 県	3,860	9.9	4,330	10.1	+12.2
岩 手 県	19,786	50.8	20,806	48.4	+5.2
宮 城 県	9,935	25.5	11,378	26.4	+14.5
山 形 県	854	2.2	1,579	3.7	+84.9
合 計	38,962	100.0	43,020	100.0	+10.4